

# 働き方改革と健康経営

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です

## 働き方改革

日本では生産年齢人口が総人口を上回るペースで減少し、国全体の生産力低下・国力の低下は避けられないと言われています。

「働き方改革」は働き手を増やし、生産性を上げるために働く人の視点に立ち、企業文化、ライフスタイル、働き方を抜本的に変革させようとするものです。具体的な労働力不足の解消には次の3つの対応策があげられます。

- ①働き手を増やす（労働市場に参加していない女性や高齢者）
- ②出生率を上げて将来の働き手を増やす
- ③労働生産性を上げる

## 健康経営

「健康経営」とは、企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面において大きな成果が期待できるとの基盤に立って、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践することです。

社員の健康管理・健康づくりの推進は

- ①社員の健康増進
  - ②生産性の向上
  - ③企業イメージの向上
- 等の効果が得ることが期待されています

**共通するのは生産性アップ！！**

## 健康経営に取り組むと生産性がアップする!?



いくら能力があっても、心身の健康上の問題があると仕事のモチベーションや効率が低下してしまう

朝のラジオ体操

風通しの良い職場づくり

禁煙支援

など

**健康づくりに取り組むことで従業員の生産性アップにつながります！！**

### 島根県経営者協会からのメッセージ

一般社団法人島根県経営者協会は日本経団連の地方組織です。目まぐるしく変化する経営環境に対応するため企業のための「企業価値向上」「企業ガバナンス強化」を目指して日々活動しています。本年度は「働き方改革推進支援センター」も立ち上げました。その中の一環として「健康経営」に取り組んでいます。経営者はもとより働いている人の仕事と生活の調和を図り、企業の活力向上や生産性向上を目指して健康投資を行う魅力ある企業づくりをサポートしていきます。